

GLS: 一般会計システム

- 総勘定元帳、試算表、財務諸表、消費税、財務分析を担当する経理部門が利用するモジュールです。
- 弊社公認会計士が20年に亘って創り上げてきた機能豊富で、使いやすい会計システムです。
- Plaza-i の基幹モジュールを利用する場合の絶対的会計エンジンとしてだけでなく、グループ会社、海外進出企業、外資系企業には是非使っていただきたいシステムです。

主なメニュー(仕訳・元帳)

- 仕訳入力
- 仕訳入力ー帳簿形式
- 仕訳入力ー外部データ取込
- 会社本支店仕訳入力
- 仕訳印刷
- 自動仕訳ー標準仕訳
- 自動仕訳ー未払計上戻し
- 自動仕訳ー仕訳分割計上
- 自動仕訳ー会社本支店間配賦仕訳
- 自動仕訳ープロジェクト完成振替
- 仕訳分割計上機能
- 仕訳承認、変更履歴照会
- 仕訳明細照会
- 複合検索
- 摘要合計表
- 仕訳明細区分分析表
- ユーザ定義コード分析表
- 総勘定元帳ー照会、印刷、補助元帳
- 勘定残高一覧表
- 試算表ー照会、印刷
- 勘定残高照会
- マッチング
- 残高明細照会、残高明細表
- 年齢調べ表
- 勘定残高照会
- 資金科目コード編集
- 資金振替伝票入力、承認

主なメニュー(報告書)

- 財務諸表、連結財務諸表
- 月次推移財務諸表
- 会社・本支店別財務諸表

- 組織別、組織階層別財務諸表
- 明細区分別財務諸表
- 予実績比較財務諸表
- 対前年比較財務諸表
- 予算前年比較財務諸表
- 決算書印刷
- 自由定義財務諸表
- 勘定残高展開表
- 現預金残高一覧表
- キャッシュフロー計算書
- 資金繰り予定表
- 消費税申告書
- 消費税集計表、消費税取引区分集計表
- プロジェクト別、プロジェクト予実績財務諸表

使いやすい仕訳入力

行	科目コード	科目名	通貨	レート	借方外貨	借方金額	貸方外貨	貸方金額	消費税	
10	6000010	国内売上高	YEN					240,000	11	
20	6000020	海外売上	USD	120.12			2,600.00	312,312	15	
30	1200010	売掛金ー会計	YEN			258,200			99	
40	1200010	売掛金ー会計	USD	120.12	2,600.00				99	
50	7180011	差込運賃	YEN			2,600			51	
60	1010110	小口現金ー一般	YEN					2,800	99	
70	4600010	仮受消費税	YEN					10,200	99	
nn									nn	
外貨合計					2,600.00	2,600.00	金額合計		574,320	574,320
勘定科目	5000010	国内売上高	通貨	YEN	借方外貨	借方金額	貸方外貨	貸方金額	240,000	
税率	11	課税	外税	税率	4	6%	細則	0112	商業 課税国内システム	
摘要	売上計上 S0119									
振替補助	Sales S0119									
伝票番号	7017									
伝票種別	1000020									
伝票コード	0000005									
伝票日	山本戸数課									
伝票参照	参照番号									

- 仕訳複写、パターン仕訳(仕訳辞書)、赤黒伝票入力、戻し仕訳が便利。
- 予め登録した仕訳を複数の会計期間に一括計上できます。
- 通常の N 対 N の振替伝票形式の他に、科目固定の出納帳形式の入力画面が用意されています。
- エクセルから出納帳データを取り込むことも可能。例えば会計事務所ではお客様の総務担当者に出納帳をエクセルで入力してもらい、科目をレビューし取り込めば、あっという間に記帳業務が完了します。
- 仕訳取込が便利です。エクセルからちよつとした仕訳データを取り込んだり、大量の固定長テキストデータを基幹システムから取り込んだり、取込データのフォーマットを定義可能で、マッピング機能を備えた仕訳取込は、Plaza-i 会計システムの可能性を拓けます。

豊富な分析項目

- 1行の仕訳明細には、勘定科目、組織、消費税取引区分、消費税率、摘要、通貨コードの基本属性に加えて、①プロジェクトコード ②従業員コード ③取引先コード ④ユーザ定義コード5つ ⑤消込番号 ⑥精算予定日 ⑦参照伝票番号 (Reference Number) の属性を入力することが出来ます。
- これらの項目は勘定科目毎に、必須入力、任意入力、入力不可の設定が可能です。
- 入力データは各種活用できますが、例えば、仕訳明細照会画面から、上記全入力項目につき検索範囲指定が可能ですので、確認したい仕訳明細だけ簡単に抽出できます。
- さらに、①～④については、明細区分別勘定残高に反映され、試算表、明細区分別財務諸表に出力可能です。

内部統制に配慮した会計システム

- 仕訳は承認をしないと勘定残高に反映されませんので、タイムリーな仕訳承認が担保されるシステムとなっています。仕訳承認後にその仕訳を変更・削除することは出来ません。
- 電子帳簿保存法に対応し、仕訳の追加、変更、削除履歴を取っています。また勘定科目を始めとする全てのテーブルの変更履歴を保持することが出来ます。
- 本締め処理を行うと、その月に仕訳を投入することが出来なくなります。本締め処理をしないと、翌月の月次更新ができないという制限を加えることも出来ます。

勘定科目－内訳科目－明細区分の三階層

- 4桁+3桁など、10桁以内であれば自由に設定可能な勘定科目と内訳科目の下に、さらに、①プロジェクト ②従業員 ③取引先 ④ユーザ定義5つの合計8個の明細区分を持たせることが出来ます。
- 明細区分があるため、内訳科目は形態別分類・機能別分類を反映した基本的なもので対応可能。内訳科目をいくつも登録し勘定科目マスターが汚れることはありません。
- 勘定残高は、会社・本支店、勘定科目、通貨、組織別かつ、いずれかの明細区分別となります。つまり売上－国内という内訳科目に対し、組織別かつプロジェクト別残高と、組織別かつ取引先別残高の分析が可能です。
- 明細区分(プロジェクト、従業員、取引先、ユーザ定義)マスターは、Plaza-iのその他のシステムと共有されていますので、二重定義は不要、自動仕訳に反映できる、という大きなメリットがあります。

個別消込(マッチング)できますか？

- Plaza-i 一般会計は、仕訳明細の借方と貸方を消込番号でマッチングさせ、消し込むことが可能

です。

- 外貨建債権債務は外貨で消込処理が可能です。
- しかも過去月の勘定残高明細、年齢調べ表を出力できますので、いつ監査にこられても安心。

充実した財務諸表

- まず標準財務諸表は前月と当月を並列した形式。会計期間の指定が可能です。
- 月、四半期、半期、期を横展開した財務諸表を出力するには画面から集計単位を選択するだけ。月次推移財務諸表だけでなく、簡単に5期並列貸借対照表、損益計算書が出力できます。
- 本支店や会社を横展開した財務諸表。グループ会社の処理には最適です。
- 組織を単純に横展開させたり、階層別にいくつも定義して小計など取りながら横展開させた組織階層別財務諸表。組織に変更があってもパターンを年度別に持てるので助かります。
- プロジェクト、取引先、従業員、ユーザ定義コードを横展開した財務諸表。入力した明細区分はここでも生きてきます。
- 予算と実績の対比、対前年同期比較、その組み合わせの財務諸表などが、初めからメニューとして用意されています。

いくつでも財務諸表フォーマットを作れます

- 経営者レベルには勘定科目を集計した財務諸表を提示したい。分析目的の損益計算書は、この科目とこの科目を足してこう表示したい。固定資産など特定の科目だけの増減表が欲しい。
- Plaza-i は財務諸表のフォーマットをいくつでも定義可能ですので、こうしたニーズに100%応えられます。
- しかも、試算表、標準財務諸表、月次推移財務諸表など、全ての財務諸表メニューで、登録した財務諸表フォーマットを都度指定可能。担当者向けの内訳科目レベルの月次推移財務諸表と、経営者向けに集計した月次推移財務諸表を2枚出力できるのはとても便利です。
- また Plaza システムで評判だったサマライズ機能をサポートしていますので、財務諸表フォーマットもワンタッチで作成可能です。

消費税

- 伝票別の消費税自動税抜き処理に対応し、仮払消費税の別行計上を実現しながら、各勘定の内税処理を前提とする日本の消費税申告書を出力することが可能です。
- 消費税一括税抜き処理もサポートしています。

グループ会社・シェアードサービスに最適

- 通常の仕訳入力画面で、処理対象会社を切り替えることなく、入力、検索したい会社本支店のコードを直接指定することが出来ます。グループ会社、シェアードサービスにおいて、少人数で複数

の会社、本支店の入力、比較修正をしている場合は、非常に便利です。

- 通常の仕訳入力画面とは別に、仕訳の明細に本支店、会社を混在させることが出来る【会社本支店仕訳入力】画面が用意されています。そこから本支店勘定、関係会社勘定を利用し、会社、本支店を超えた複数の仕訳を自動生成することが出来ます。
- 財務諸表等の範囲指定で、会社、本支店を超えた指定をすることが出来ます。
- 基準通貨が外貨の子会社が混在しても、親会社指定通貨(報告通貨)による連結が可能です。
- 会社本支店間配賦機能により、本社経費を各社にチャージできます。

プロジェクト会計対応

- 仕訳明細にプロジェクトコードを入力しプロジェクト別財務諸表を出力可能です。
- 組織別かつプロジェクト別に財務諸表を出力可能です。
- 年間数百のプロジェクトが有る場合でも、横展開したプロジェクト別財務諸表、仕掛一覧表、原価明細書等を出力可能です。
- 1つのプロジェクトに対し工事進行基準に対応し複数回完成振替計上が可能です。

長期契約処理

- リース契約など、長期契約を事前に登録し、毎月自動仕訳として生成することが可能(仕訳分割計上)。
- 支払総額の一致が確認された契約から毎月正確な仕訳が生成されるので安心です。
- 未経過リース料、5年回収予定表などを出力可能。

共通経費配賦機能

- 組織(部門)だけでなく、プロジェクト、セグメント等、各種明細区分による配賦機能に対応。多段階の配賦にも対応しています。
- 社員数など非会計数値の入力が可能。財務諸表に出力できます。共通経費の配賦機能は、売上高だけでなく、月末社員数など非会計数値を利用可能。

マルチカレンシー対応

- 取り扱い可能な通貨数は実質無制限。
- 外貨建て取引の基準通貨への換算、基準通貨の報告通貨への財務諸表換算は Plaza-i の得意とするところ。
- 実現為替差損益、未実現為替差損益の自動計上に対応。
- 海外処理のために、円以外の通貨を基準通貨とし入出力が可能です。

資金管理

- キャッシュフロー計算書は間接法、直接法のいずれにも対応。
- 資金振替仕訳を入力可能です。
- 仕訳明細に入力した精算予定日に基づき、資金繰り予定表を出力可能。

複数会計基準対応

- 修正仕訳用の本支店を追加し、そこに別会計基準への修正仕訳を入力する事により、別会計基準の勘定残高を保持する事が出来ます。
- 財務諸表フォーマットを複数設定し、試算表、財務諸表を複数の会計基準で出力する事が出来ます。

銀行勘定調整表

- 当座勘定の現預金口座別残高と銀行の勘定照合表の残高を照合し、銀行勘定調整表(Bank reconciliation)を作成します。
- 必要に応じ、売掛金勘定の取引先別残高と確認状残高の照合を行います。